

講義名	英語 A		
科目区分	グローバル基礎		
担当教員	氏木 孝仁		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	1
		備考	

主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかるという態度を育成します。
共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。
初級～中級の levelの英語の記事を読んで、現在の社会で起こっている様々な出来事に目を向ける。

到達目標

共通教材：基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。
個別教材：単に日本語にするだけでなく、背景状況を理解して 英文記事内容を理解し、英字新聞に慣れ親しむ。

提出課題

オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めています。
教科書各章の終わりに課題として サマリーを書いて提出。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

共通教材：翌週の小テスト問題について授業内で解説します。
個別教材：各章の最後に要約の提出または訳文の提出を求めます。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。
いろんな英語のレベルの学生が集まります。
自由に質問してください。

教科書	.Meet the World.	若宥保彦	Seibido	2,160円	9784791971909
------------	------------------	------	---------	--------	---------------

プリント資料及び参考文献

必要に応じて授業中に指示します。
教科書以外に必要な資料は授業で配布する予定です。

- 授業計画**
1. オリエンテーション (授業に関する説明)
 2. Moodle共通教材 ガイダンス、環境問題
 3. Moodle共通教材 Set 1 / 観光
 4. Moodle共通教材 Set 2 / Moodle Quiz Set 1 経済
 5. Moodle共通教材 Set 3 / Moodle Quiz Set 2 科学技術
 6. Moodle共通教材 Set 4 / Moodle Quiz Set 3 社会福祉
 7. Moodle共通教材 Set 5 / Moodle Quiz Set 4 中間まとめ (レビュー)
 8. Moodle共通教材 Set 6 / Moodle Quiz Set 5 教育
 9. Moodle共通教材 Set 7 / Moodle Quiz Set 6 社会
 10. Moodle共通教材 Set 8 / Moodle Quiz Set 7 人権
 11. Moodle共通教材 Set 9 / Moodle Quiz Set 8 サマリーライティング1
 12. Moodle共通教材 Set 10 / Moodle Quiz Set 9 サマリーライティング2
 13. Moodle共通教材 Set 11 / Moodle Quiz Set 10 サマリーライティング3
 14. Moodle共通教材 Set 12 / Moodle Quiz Set 11 Review
 15. Moodle Quiz Set 12 / Moodle共通教材期末テスト 提出

- 授業形態（アクティブ・ラーニング）**
- ア：PBL（課題解決型学習）
 - イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
 - ウ：ディスカッション、ディベート
 - エ：グループワーク
 - オ：プレゼンテーション
 - カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材：予習：次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のムードルにアクセスして解く。復習：授業で解説を聞いた後、次週のクイズ（小テスト）に向けてそのセット問題を復習する。
その日に終えた箇所の文法問題や構文の復習、予習として 予め 次回カバーする箇所を読んでおくこと。
・ ・ 合わせて4時間程度

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS (Learning Management System) であるMoodleをコール教室、および（または）、授業外の自主学習に利用している。
オンラインで入手可能な情報を上手く活用することで英語の自然な表現をインプットし整合性を高める。

実務経験の有無及び活用

実務経験有り。
ビジネス現場での情報伝達のやりとりを授業でのサマリーライティングや解釈の解釈の説明に活かせ、出力を高める授業を目指す。

備考